

社会科(歴史的分野)学習指導案

指導教諭 XXXXXXXXXX先生

授業者

1、日時

6月 5日(木曜) 4限 高校1年 B組

6月 6日(金曜) 2限 高校1年 J組

6月 6日(金曜) 3限 高校1年 G組

6月 6日(金曜) 5限 高校1年 H組

6月 6日(金曜) 6限 高校1年 A組

2、単元 近代ヨーロッパと国民国家の形成(19世紀)

3、指導要領上の位置づけ

内容(3) 国民国家と明治維新

諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(イ) 国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現すること。

4、本時の位置

(1) ウィーン体制下のヨーロッパ…………… | 時間

(2) 1848年革命後のヨーロッパ…………… | 時間

(3) ウィーン体制完全崩壊後のヨーロッパ…………… | 時間

(4) ドイツ統一とビスマルク…………… | 時間(本時)

5. 教材観

本教材では、19世紀のドイツ統一という政治的な変革と、それを推進したビスマルクの政策を中心に扱う。統一過程を「戦争の連続」ではなく、「鉄血・内政・外交」を軸とした多面的な視点で捉えることで、単なる年号暗記にとどまらず、国家形成やリーダーのあり方、戦争と平和のバランスといった現代的テーマにもつながる深い学びが期待できる。

6. 生徒観

生徒は社会の構造や歴史的变化に対する関心を持ちつつも、政治的用語や外交関係の理解に困難を感じやすい傾向がある。一方で、ロールプレイや対話的活動を通じて、具体的な立場や利害から問題を考えることで理解が深まりやすい。

本時の授業では、近代ヨーロッパ史に関心がある生徒も多いが、政治的背景の抽象性に難しさを感じる生徒もいるため、視覚資料や参加型活動で理解を深めたい。

7. 指導観

教師は一方的な知識伝達者ではなく、生徒の多様な意見や解釈を引き出す役割を担う。ロールプレイや疑問に対する意見交換、感想共有などの活動を通して、知識と体験を結びつけ、歴史を「過去の出来事」ではなく「今に問いを投げかける素材」として扱う。

また、外交や内政といった複雑な内容を、構造化された資料や視覚的支援を用いて明確に整理する指導力が求められる。

8. 単元の評価基準

A 知識及び技能	B 思考力・判断力・表現力	C 主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・ウィーン体制とその理念(正統主義・勢力均衡)を理解している・1848年革命やナショナリズムの高まりを説明できる・ドイツ統一までの戦争や政治的動きを把握している	<ul style="list-style-type: none">・各国の利害関係を踏まえて、戦争や外交の背景を考察できる・国民国家形成の過程における人々の意識の変化を捉えて説明できる・歴史的事象のつながりを論理的に表現できる	<ul style="list-style-type: none">・他者の意見を受け止めつつ、多様な立場から物事を考えようとしている・国民国家の形成や統一運動に込められた人々の思いや課題に関心を持って学習に取り組んでいる

9、本時の目標 ドイツ統一の過程とビスマルクの内政・外交の特徴を理解することができる。

「アメとムチ政策」について多面的・多角的な視点から考え、表現することができる。

10、指導計画

時間	学習活動	指導上の注意点	評価
導入 8分	1. ナショナリズムの考え方から国民国家が形成されることを理解した上で、ドイツの国民国家形成の立役者であるビスマルクの人物像を学ぶ。	○前回までの範囲であるナショナリズムの考え方を復習させる。 ○日本人とドイツ人の相違点や日本人としての誇りについて考えさせた上で、国民国家の形成について理解させる。 ○ビスマルクについて生い立ちについて説明し、人物像をつかませる。	・国民国家形成の過程における人々の意識の変化を捉えて説明できているか。(思考力・判断力・表現力)
10分	2. ビスマルクの政治について学ぶ。	○鉄血政策について、ビスマルクのスピーチをもとに、鉄と血について考えさせる。 ○ドイツ統一までの流れを年表や地図を使い、視覚的にわかりやすく説明する。	・ドイツ統一までの戦争や政治的動きを把握できているか。 (知識及び技能)
10分	3. ビスマルクのアメとムチ政策について、労働者の立場になりきって考える。	○生徒自身に労働者の立場になりきらせた上で、当時の社会情勢を整理するとともに、アメとムチの政策をそれぞれ明確にさせる。 ○ビスマルクのアメとムチ政策に賛成か反対かを考えさせる。	・ビスマルクのアメとムチ政策に賛成か反対かを立場になりきり、自分なりに取り組めているか(主体的に学習に取り組む態度)
7分	4. ヴェルサイユでの皇帝即位の場面を資料から「なぜ敵国で戴冠？」を考える。	○ナショナリズム・屈辱感・象徴性などを生徒から引き出す。ビスマルク外交につなげる。	
10分	5. ビスマルク外交について、多面的・多角的に考える。	○三帝同盟、三国同盟、ベルリン会議を地図付きで提示する。 ○「フランスを孤立させ、ドイツを囲ませない」戦略を簡潔に説明する。	
5分	6. ビスマルクの政治を総合的に評価する。	○ビスマルクの政策の内政面と外交面の両面を踏まえて、賛成か反対かを考えさせ、評価させる。	・内政面と外交面の両面を踏まえて評価できているか (思考力・表現力・判断力)

11、本時で扱う教材、準備物

教科書、パワーポイント、授業プリント